

MAXZEN

スチーム加湿器

取扱説明書

品番 JKS35MT01

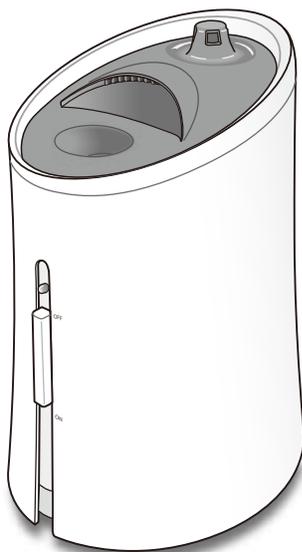
日本国内専用

家庭用

もくじ

ページ

ご使用前の確認	P1
安全上のご注意	P2~5
ご使用にあたっての注意とお願い①	P6
ご使用にあたっての注意とお願い②	P7
使用時に起こる現象	P8
各部のなまえ	P9
準備をする	P10
運転のしかた	P11
アロマを使用する	P11
水タンクの水が空になった場合	P12
お手入れのしかた	P13~15
故障かな?と思ったら	P16
製品仕様	P17
保証書	P18



このたびは「スチーム加湿器」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解されたうえで事故が起これぬように記載内容に従って正しくご使用ください。本製品は一般家庭用に開発された製品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。また、一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。

製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ご使用前の確認

■製品輸送などによる破損の可能性もあるため、ご使用前には影響の出ない場所に設置し、水を入れた動作確認を必ずおこなってください。

■ご使用時には以下のことを必ずお守りください。

本製品は、水をヒーターで加熱し噴霧する[スチーム式]の加湿器です。

ご使用の環境により、噴霧されたミストが気化されずに、製品本体や周辺に水滴となって落ち、床ぬれが生じる場合がございます。

寒暖差がある場合、自然現象により水タンクから外側へ水の押し出しが生じることがあります。

ご使用にならないときは、必ず水タンクを空にしてください。

注意とお願い

- 1 周辺にテレビなどの電器製品、時計、パソコン、携帯電話などの精密機器を置かないでください。
 - 2 設置場所に関してミストや不測の水漏れなどで、影響を受けやすい場所（畳、無垢の材質、水で変形・変色をしてしまう床など）でのご使用はおやめください。
 - 3 取扱説明書を確認のうえ、ご使用後は必ず毎回お手入れをおこない、水タンク弁への異物詰まりや製品破損の有無など、製品に異常がないかを確認してください。
- 上記の注意・使用方法が守られずに発生した損害については、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意** 人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

 記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

 記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告



分解禁止

絶対に改造・分解・修理をおこなわない

- 火災や感電、けがの原因になります。
- ※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。

**コンセントや配線器具の定格を超える
使いかたやAC100V以外では使わない**

日本国内専用

- たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに接続している機器の損傷のおそれがあります。



禁止

**業務用に使用しない
使用目的以外や屋外で使用しない**

一般家庭・屋内専用

- 事故や故障の原因になります。

**電源コードは束ねたり、引っぱったり、重いものをのせたり、
加熱したり、加工したり、ねじったり、挟み込んだりしない**

- 電源コードが破損する原因となり、感電や故障、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電やけがのおそれがあります。



水ぬれ禁止

本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない

- 底部の電気部に水が入ると、ショートや故障の原因になります。

警告

傷んだプラグやゆるんだコンセントは使わない

- 感電やショート、発火のおそれがあります。

火気や暖房機のそばに放置したり、タバコの火などを落とさない

- 燃えたり熱で変形するおそれがあります。

送風口やすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない

- 故障の原因になります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところでの使用や設置・保管はしない また、おもちゃとして絶対に使わせない

- 事故などの原因になり大変危険です。

危険予測のできない人の単独使用はしない

- 事故などの原因になります。

直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない

- 故障や色あせ、熱による変形の原因になります。

異常・故障時にはただちに使用を中止する

- 異常のまま使い続けると、発煙・火災・感電やけがに至るおそれがあります。
(異常・故障例)・使用中、電源コード、電源プラグがいつもより異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
・電源コードを動かすと、通電したり、しななかったりする
・その他異常や故障がある
- すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

使用後やお手入れ・組立て・分解の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからおこなう

- 誤って作動してけがややけど、感電の原因になります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っばらずに電源プラグ部分を持って抜く

- コードが破損して火災の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 感電やショート、発火のおそれがあります。

電源プラグのゴミやほこりは定期的に取り除く

- 湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

排水は必ず説明通りに排水方向より排水する (12 ページ参照)

- 排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災、感電、ショートの原因になります。



禁止



必ず守る

注意

不安定な場所に設置したり、落下させて強い衝撃を与えない

- 本体が破損したり、動作不良や故障の原因になります。
- ※万が一本体にひびなどの破損が見られた場合は、そのまま使い続けると、水漏れや漏電のおそれがあります。

使用中は本体を持ち運ばない

- 水タンク内に水が入った状態で動かしたり、本体を転倒させると、底面から水が漏れたり、破損や故障、やけどの原因になります。

本体の上に物をのせたり、本体をおおったりしない

- 誤作動や故障の原因になります。

凍結させない

- 凍結は本体破損の原因になります。
- ※凍結のおそれがある場合は、加湿器内部の水を全て捨ててください。



禁止

殺虫剤や掃除用のスプレーをかけない

- 樹脂や塗膜部が変質したり、変形するおそれがあります。

水タンクや上蓋を外したまま使用しない

- 水が吹き出して、やけどや周辺の内装品に損害が生じるおそれがあります。

噴霧口などの開口部をふさがない

- 破損や動作不良・故障の原因になります。

長時間、加湿しすぎたり、もともと湿度の高いお部屋(60%以上)での使用は避ける

- 室内が多湿になり結露やカビ、雑菌の繁殖、故障の原因になります。

噴霧口から噴出されるミスト(霧)を、故意に吸引したり、触ったりしない

- やけどや健康を害する場合があります。

Max位置以上に水を入れない

- 本体下部より漏水します。



必ず守る

電源コード、電源プラグが破損した場合や、異常、故障時にはただちに使用を中止する

- 発煙、火災、感電やけがに至るおそれがあります。
- ※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。

⚠ 注意

設置場所の注意事項を参照して設置する（7ページ参照）

- 電波障害や湿気により周辺の内装品に損害が生じるおそれがあります。

長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電、ショート、発火のおそれがあります。

本品を乾燥させる場合は、直接日光に当てず、陰干しでおこなう

- 変色・変形の原因になります。
- ※食器洗い乾燥機や食器乾燥機での乾燥はできません。



必ず守る

使用後は必ず水タンクを空にする

- 寒暖差がある場合、水タンク内の空気が膨張し、水が漏れることがあります。

使用中に給水するときは、運転を止めてからおこなう

- やけどや故障のおそれがあります。

使用後は必ずお手入れをする（お手入れのしかた:13、14、15ページ参照）

- 内部の汚れによる動作不良を起こす原因になります。

水タンクには水道水を使用してください。

■以下の物を水タンクに入れないでください。

アルカリイオン水、ミネラルウォーター、抗菌処理をしていない水、井戸水、汚れた水、熱湯、40℃以上の湯、アロマオイル、化学薬品、芳香剤、洗剤、水以外の物

お部屋の湿度観察について

快適なお部屋の湿度は 40%～50%とされています。

過剰加湿や加湿不足を防ぐため、湿度計を併用することをおすすめします。

お部屋の湿度が 60%を超えると、窓などに結露が起こり、雑菌、カビが繁殖しやすくなります。

ご使用にあたっての注意とお願い①



必ず守る

- **水道水以外のものを、水タンクに入れないでください。**
破損・誤作動・故障の原因になります。
※水タンクに以下の物を入れると故障したりカビや雑菌が繁殖します。
アルカリイオン水、ミネラルウォーター、抗菌処理をしていない水、井戸水、汚れた水、アロマオイル、化学薬品、芳香剤、洗剤
- **40℃以上のお湯などの温度の高い水を入れないでください。**
破損・誤作動・故障の原因になります。
- **アロマオイルは蓋のアロマポッド以外には入れないでください。**
オイルの成分がプラスチックを溶解して割れてしまい、水漏れなど故障の原因になります。
- **水タンクの給水口内のボールが浮き上がるまで水を入れないでください。**
水が溢れるおそれがあります。※詳細 10 ページ
- **こまめにお手入れをしてください。**
水タンク内の水は清潔な状態を保つために、使用時は毎回新しい水と入れ替えてください。長期間水を入れっぱなしにしていたり、洗浄をおこなわない場合、内部の汚れによる動作不良を起こしたり、雑菌などの繁殖により健康を害するおそれがあります。
- **本体内部のお手入れは、使用時は毎回必ずおこなってください。**
(お手入れのしかた：13、14、15 ページ参照)

本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない

- ※堆積物が多量に付着すると故障の原因になります。
- ※取れない汚れ、カルキやミネラル分は綿棒や柔らかいブラシなどで落としてください。※詳細 13、14、15 ページ



注意

本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤は使用しないでください。
噴霧部に洗剤が残り、有毒なガスが発生したり、故障の原因になります。

ご使用にあたっての注意とお願い②

設置場所について

- 噴霧口から出るミスト（霧）をさえぎる物のない場所に設置してください。
- 壁や家具、カーテン、天井、衣類の近くに設置しないでください。
壁や窓から必ず 1m 以上離して使用してください。
シミ、変色、変形のおそれがあります。
- ミストが直接当たる場所に電気製品、時計、パソコン等の精密機器を置かないでください。
湿気によって故障や誤作動の原因になります。
- テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から 1m 以上離してください。
テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こる場合があります。
- ダイニングテーブルの上などの高い位置に設置すると、空気中に気化しやすくより効果的です。
設置場所が低すぎると、気化する前にミストが落下してしまい、床が湿ってしまう場合があります。



- 長時間同じ場所で使用すると、白い粉が付着したり、材質・塗料によっては変形・変色（シミなど）する場合があります。
- 加湿器の下に布や市販の防水シートなどを敷いてご使用ください。

！ 必ずお守りください

- ◎ 人がよく通る所には設置しない
本体にぶつかったり、コードに足を引っかけたりして加湿器を倒してやけどや故障する原因になります。
- ◎ 小さなお子様やペットに注意する
お子様やペットが誤って本製品を転倒させないように十分ご注意ください。
- ◎ カーペットやふとんの上、傾斜がある場所や不安定な場所では使用しない
本体が転倒して水が漏れ、周辺の内装品に損害が生じる原因になります。
- ◎ 直射日光の当たる所や、暖房器具の近くなど、高温になる所には設置しない
水漏れすることがあります。（これは水タンク内の水や空気が膨張して起こる現象です）
- ◎ 噴霧口に手や顔を近づけない
ミストや沸騰した水滴がはねて、やけどのおそれがあります。

使用時に起こる現象 ※これらの現象は故障ではありません

床・壁の濡れについて

- 湿度が60%以上の時は、すでにお部屋は十分加湿されており、さらに加湿しようとする、床や壁、家具などが湿ってくることがあります。湿度計を併用し、お部屋の湿度が高い場合は、運転を停止してください。
- 加湿器周辺の床濡れは、外気温が低くてミストが気化していないことが原因の一つです。お部屋の中を温かい状態に保ち、加湿器をすこし高い場所に設置して使用してください。

においについて

- 地域やマンションの水道水の環境により、若干においがする場合があります。
- お手入れを怠ると、雑菌やカビが繁殖して異臭を放つことがあります。悪臭の発生を防ぐために、使用時は毎回必ずお手入れをおこなってください。

白い粉について

- 水道水に含まれるカルキやミネラル成分、銹物成分など結晶として現れるものがミストとともに床面や周囲に付着することがあります。ミストが直接当たる場所に物を置くのを避けて、付着した場合はこまめに拭き取ってください。

水槽の汚れについて

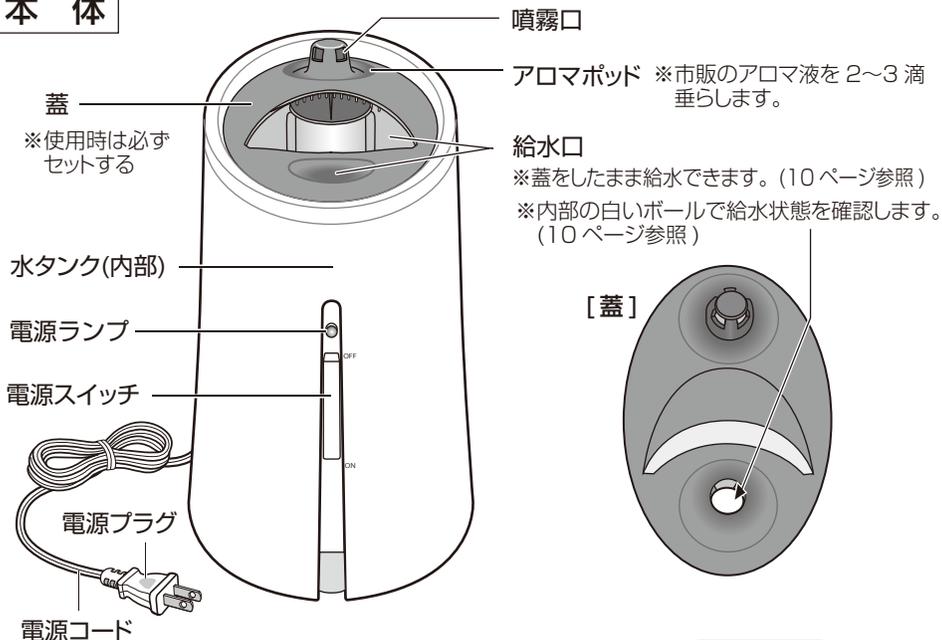
- 本製品をお手入れせずに使い続けていると、本体水槽に汚れや白い粉が溜まります。お使いの水道水の中に含まれるミネラル成分、銹物成分が徐々に堆積することで結晶として現れます。加湿性能の低下、故障の原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

ガスコンロの火の変色について

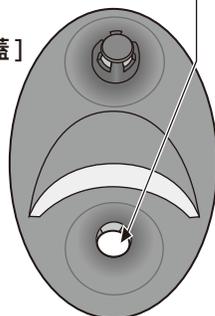
- 水道水は消毒のためのカルキやミネラル成分が含まれており、空気中で炎と接触すると炎色反応が起こり、コンロの火が赤くなる場合があります。有害な物質、不完全燃焼によるものではなく、人体に悪い影響はありません。

各部のなまえ

本体



[蓋]



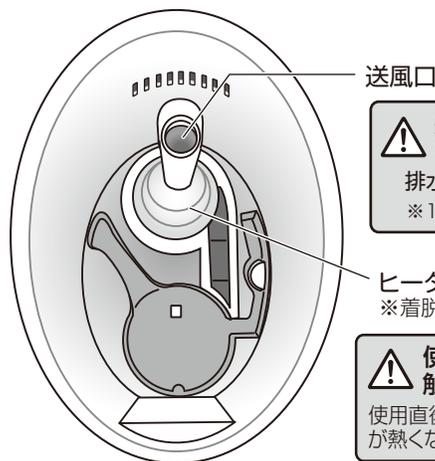
水タンク

※本体にセットしたままでも、本体から取り出しても、給水できます。※詳細10ページ

! 電源コードは束ねたまま使用しない
→コードが熱くなり、故障の原因になります。

! 長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておく

本体水槽



! 送風口に水を入れない
排水方向に注意
※12ページ参照

! 使用直後は手を触れない
使用直後は内部の加熱部が熱くなっています。



水タンク弁カバー
(水タンク弁内蔵)
※詳細14ページ

準備をする

1. 水タンクに水道水を入れる

水タンクへの給水方法は2通りあります。

- ① 水タンクを本体に入れたままで給水する方法（上部給水）
- ② 水タンクを本体から取り出し、水タンク内のMax位置まで給水して本体に水タンクをセットする方法

※取り出した水タンクを本体にセットするときは、送風パイプの位置を合わせて静かに挿入してください。



注意

●水タンクをセットしないままで本体内に直接給水することは絶対にしない



必ず守る

●蓋の穴から見える白いボールが浮いてきたら、蓋を外して水タンク内の「Max」位置を確認しながら給水をする→水が溢れるおそれがあります。

※7ページ「設置場所について」を参照して問題の起こらない場所に本体を設置してください。

《上部給水のしかた》

- ① 蓋の給水口から静かに給水をする



注意

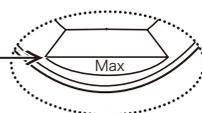
噴霧口には絶対に水を入れない

- ② 蓋の穴の中の白いボールが浮いてきたら、蓋を外して水タンク内の「Max」位置を確認しながら静かに給水をする

※それ以上給水すると、水が溢れるおそれがあります。

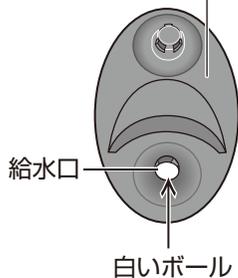
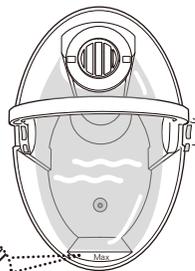
※水タンクに水を入れると、本体側に水が流れ込みます。水を入れたあとは本体を傾けたり、動かしたりしないでください。

Max 位置



Max

[水タンク]



《水タンク着脱給水のしかた》

- ① 蓋を外し水タンクの取っ手を持って本体から取り出し、「Max」位置まで給水します。
- ② 水タンクを本体にセットします。



注意

Max 位置以上に水を入れない

40℃以上のお湯、化学薬品などタンクに水道水以外のものを入れない ※5ページをご参照ください。

運転のしかた

※水タンクの水が本体水槽部に入っていく音(トクトクという音)が止まるまでお待ちください。
→水槽部に水がないと「給水」の状態となり、運転ができません。



注意

水タンクをセットした後は、給水時以外は水タンクを抜き差ししたり、むやみに触れたり、移動したりしない
→水が漏れたりする原因になります。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

※電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



電源コードは束ねたまま使用しない

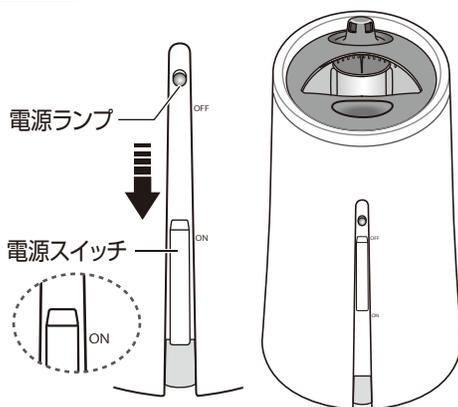
→コードが熱くなり、故障の原因になります。

2. 電源スイッチを ON にする

- 電源ランプが青色に点灯し、加湿が開始されます。

※お部屋の温度や水温により、ミストが出るまで数分かかります。

※お部屋の温度や湿度により、ミストが見えにくいことがあります。



3. 電源スイッチを OFF にする

- 使用後は、12 ページの ①～③ の手順をおこない「お手入れのしかた」を参考にお手入れをおこなってください。

アロマ液を使用する

- 蓋のアロマポッドに市販のアロマ液を2～3滴たらしめます。

※アロマ液は付属していません。



禁止

アロマ液を直接水タンクに入れない
オイルの成分がプラスチックを溶解して割れてしまい、水漏れなど故障の原因になります。

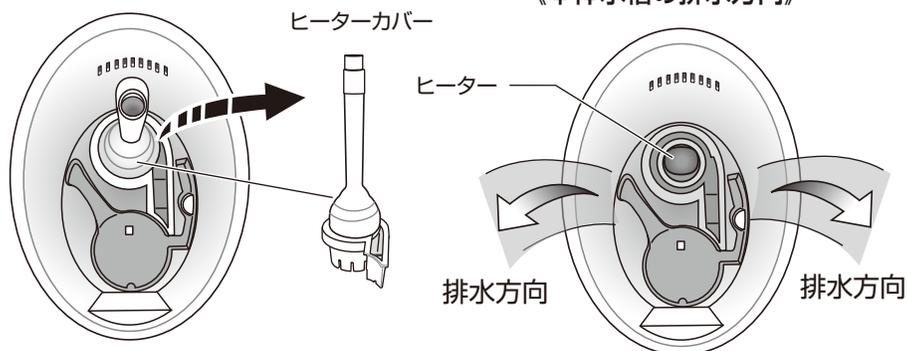


水タンクの水が空になった場合

■使用中、水タンク内の水がなくなると、電源ランプが赤く点灯し、運転が停止します。

- ① 電源スイッチを OFF に戻して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
 - ② 本体から水タンクを外し、水タンク内に残っている水をすべて捨てる
 - ③ 本体が冷めたのを確認して、ヒーターカバーを外し、本体水槽内に残った水を排水方向を守ってすべて捨てる
- 停止直後はヒーターカバー・ヒーターが熱くなっていますので注意してください。

《本体水槽の排水方向》



- ④ 続けて使用する場合は 10 ページを参考にして 新しい水を入れる

お願い 定期的に本体から水タンクを取り出して内部を洗ってください。



必ず守る

水タンクの水が減ってきたら水の注ぎ足しをせずに、水タンク内に残った水をすべて捨てて新しい水に入れ替えてください。

■気温の高い時期に、タンクに水を入れたまま4~5日使用しないと、水が腐ってヌメリや悪臭の原因になります。
必ず毎回新しい水に入れ替えて常に清潔な状態で使用してください。

- 水タンクに水を入れてすすぎ洗いをします。底面などに付いたカルキやミネラル成分の取れない汚れは綿棒や柔らかいブラシなどで軽くこすってください。

※割れやヒビが入ると水漏れの原因になりますので、ていねいに扱ってください。

※お使いの水道水のミネラル成分やご使用頻度によって、付着の度合いが異なることがあります。



注意

しばらく使用しない場合は、本体と水タンクをていねいにお掃除し、しっかり乾燥させてから保管する

※表面や内部が濡れていると、カビや細菌の繁殖、異臭などの原因になります。

お手入れのしかた



必ずコンセントから電源プラグを抜く



- 本体に水をかけたり、水洗いをしない
→感電や故障の原因になります。
- 洗剤・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・金属たわし 硬いたわしなどは使わない
→変形や変色の原因になります。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機での乾燥はしない
→変形や故障の原因になります。

- ヒーター部分やヒーターカバーが完全に冷えてからお手入れをおこなう
→ヒーター部分は大変熱くなっています。やけどのおそれがあります。

- 本体から水タンクとヒーターカバーを外し、水タンクと本体に残っている水を全て捨ててください。



必ず守る

「本体水槽の排水方向」を守って排水する

※12ページ参照

本体 水洗いできません

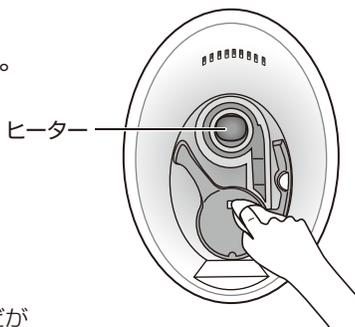
※使用時は毎回必ずお手入れをしてください。

- 水を捨てたら、よく絞った布巾などで本体内部を拭き、汚れを取ります。
- 取れない汚れや、付着したカルキなどの白い粉は、綿棒や柔らかいブラシなどで軽くこすって落とし、水を浸した布巾などで拭き取ります。

※お手入れを怠ると、カルキやミネラル成分などがこびりついて落ちにくくなります。

※お使いの水道水の鉱物成分やご使用頻度によって、付着の度合いが異なることがあります。

※表面に付いた水気は乾いた布で拭いてください。カビや悪臭の原因になります。



■ 本体水槽部にカルキやミネラル成分などがこびりついて落ちない場合は

- ① お湯50mlに重曹(食用)5gをとかし、乾いたキッチンペーパーに含ませます。
 - ② カルキやミネラル成分などがこびりついた場所を①で覆い、30分程放置します。
 - ③ キッチンペーパーを外し、綿棒に水をつけながらこすり取り、本体水槽部から取り除いてください。
- 落ちにくいときは、①～③を繰り返してください。

水タンク 水洗いできます

- 水タンクに水を入れてすすぎ洗いをします。
- 水タンク底面に付いたカルキなどの取れない汚れは、「水タンク弁カバー」を分解して水洗いします。※洗い終わったら、必ず水タンク底面に再度セットしてください。

分解のしかた

- ①水タンク底の水タンク弁カバーを、反時計回りに回して外します。
- ②内側にある水タンク弁を取り外します。
- ③水タンク底・水タンク弁カバー・水タンク弁を柔らかいブラシを使って洗います。

《水タンク底》①

反時計回り

水タンク弁カバー

②

《表面》

《裏面》

水タンク弁

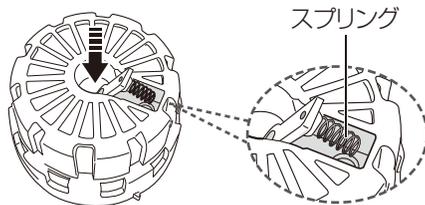
③

水タンク弁
取り付け位置

- ④水タンク弁カバーの中央のスプリングがなめらかに動くように付着したカルキなどを、綿棒や付属のブラシなどを使って取り除いてください。

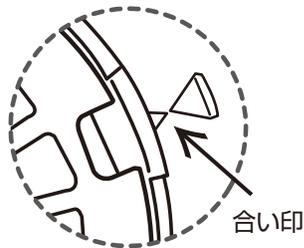
※真ん中を指で押すとスプリングが立ち上がります。

※スプリングが正常に動作しないと水漏れの原因になります。



セットのしかた

- ①水タンク底の取り付け位置に、水タンク弁の表面を上にして正しくセットします。
- ②①の上に水タンク弁カバーの位置を合わせたら、上からしっかり押し込み取り付けます。
- ③水タンク弁カバーと本体底の三角形の「合い印」が向き合うように回します。



※合い印が向き合ったところで「カチッ」と音がしてしっかり固定されます。」

蓋・ヒーターカバー・送風口キャップ

水洗いできます

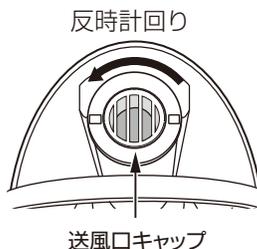
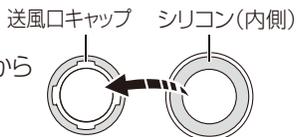
- カルキなどの汚れを柔らかいスポンジやブラシを使って、水洗いして取り除きます。
※割れやヒビが入ると水漏れの原因になりますので、ていねいに扱ってください。



使用時は、毎回必ずお手入れ
をしてください。

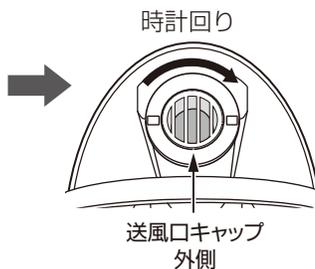
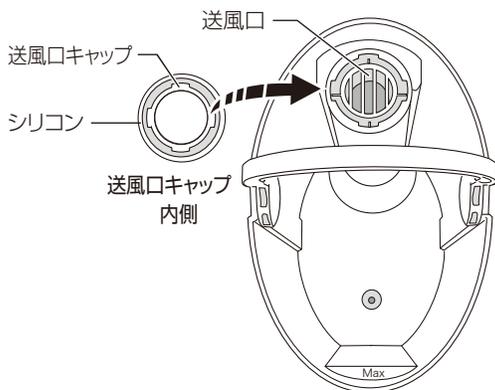
- 送風口先端の送風口キャップを反時計回りに回して送風口から外し、カルキなど汚れを水洗いして取り除きます。

※送風口キャップを、シリコンから外して両方を水洗いします。



※洗い終わったら、送風口キャップとシリコンをセットし、内側の4か所の凸部と送風口の凹部の形状を合わせて送風口にセットし、時計回りに回して固定してください。

【注】送風口キャップを逆向きにセットしてしまうと、蓋が正しく取り付けられません。



送風口キャップは必ず
送風口にセットする

電源プラグ

水洗いできません

- ゴミやほこりは定期的に乾いた布で拭き取ります。



故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ →電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ミスト(霧)が出ない または出が悪い	●水タンクの水が無くなっていませんか？ →水タンクに給水してください。(12 ページ参照) ●水タンクが本体にきちんとセットされていますか？ →水タンクを本体に正しくセットして、水平な所に置いてください。 ●本体水槽内にカルキやミネラル成分が堆積していませんか？ →水槽内のお手入れをしてください。(13、14、15 ページ参照) ●水タンク弁やスプリングに、カルキなどが堆積していませんか？ →お手入れをしてください。(13、14、15 ページ参照)
床面が結露する	●湿度が高すぎませんか？ (5ページ「お部屋の湿度観察について」参照) →一度運転を停止してください。
白い粉が付着する	●ミネラルウォーターや井戸水を使用していませんか？ →浄水器を使用した水のご使用をおすすめします。(5、6 ページ参照)
「ゴー」という音がする	加湿中に発生する泡の音で、故障ではありません。

製品仕様

定格電圧	AC100V	適用床面積	木造：5畳
定格周波数	50/60Hz		プレハブ洋室：8畳
定格消費電力	260W	水タンク容量	約 3.5L
温度ヒューズ	216℃	電源コード長さ	約 1.6m
電流ヒューズ	5A	本体重量	約 2.5kg
加湿量	約 300mL/h	材質	ABS樹脂、PP樹脂
連続加湿時間	約 11時間	生産国	中国
本体サイズ	約(幅)21.9 x (奥行)26.5x (高さ)35.5cm		

※連続使用時間・適用床面積は、実際の使用環境・使用状況により異なります。

保管のしかた

- 水気や汚れをしっかりと拭き取り、十分に乾燥させて袋などに入れて保管してください。
 - 振動のある場所や冷暖房機のそばは避けてください。
 - 直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
 - 子供や幼児の手の届かない所で保管してください。
- ※旅行などで数日間使用しない場合も本体、水タンク内の水をすべて捨ててください。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

販売元： **MAXZEN** (マクスゼン株式会社)

輸入元： **MARUTAKA** (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》 TEL 03-5365-3535

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

保証書

本書は、本書記載内容(無料修理規定に基づく)で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日より下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	スチーム加湿器	品番	JKS35MT01	
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	本体お買い上げ日より1年	
お客様	お名前	様		
	ご住所 〒			—
	お電話			()
販売店	住所・店名			
	電話	()		

販売店様へ※印欄はお買い上げ日を必ずご記入のうえお渡しください。(販売店印がない場合は、領収書またはレシートを貼ってください。)

保証規約

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店まで修理をご依頼ください。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼ができない場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料となります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他天災地変や異常電圧による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)やポータブルバッテリーなどで使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 正規販売店以外(オークションや中古販売品、個人売買品、未開封の二次販売など)での購入の場合。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくはお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

※この製品のスペアパーツをお客様にお届けできる期間は、製造終了後3年間までです。(流通在庫の関係で期間内でもお届けできない場合があります。)

販売元： **MAXZEN** (マクスゼン株式会社)

輸入元：株式会社 丸隆
〒151-0073 東京都渋谷区世塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》 TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。